

# V O I A J E

noviembre 28, 2017  
土井先生の活動日記  
Honduras Vol.6

## あつ〜いクリスマス

みなさんこんにちは。相変わらず真夏の太陽がキラキラ輝くホンジュラス・チョルテカよりレポートです。こちらはカトリック教徒が多いので、クリスマスは重要なイベント。装飾は日本と同じようにサンタクロースがいて、トナカイがいて、雪やソリ、ツリーなど、典型的なクリスマスの光景があちらこちらで再現されています。違うことは、着ている服がサントスーツじゃなく、半袖のシャツってことぐらい。

今回は仕事のネタを載せます。先月末に算数の一斉テストを実施しました。教科書はこちらの教育省と JICA がコラボして作成しており、内容は日本の小学校の教科書とほとんど同じです。そこで、どの程度子ども達が理解しているかを測るため、JICA 監修算数共通テストを全学年に実施しました。算数の力を測るテストだったのですが、思った以上に「問題を理解できない」子どもが多かったことが印象に残っています。例えば筆算のことをスペイン語で *forma vertical* と言いますが、この言葉が分からないから計算問題が解けない。約分を意味する *simplificar* が分からないと約分しないままだったり、文章題に至っては問題文が読めない・・・など。三角形の面積を求める時に  $\div 2$  を忘れるなんてざら。新年度に向けて課題が見えたテストでした。

あと、7〜9年生（中1〜中3）で「身体を動かす楽しみと仕組みを知る」を目的にラジオ体操の授業を行いました。ボランティア訓練中に教わった元 NHK ラジオ体操インストラクターの講座で習った経験が役に立つとは。この学校では体育の授業＝サッカーと言っても良い位多様性に乏しい。ま、体育館もボールもネットもないから仕方がないのだけれど。例えば、身体を回す運動のなんてレベル高いこと。この運動は「腰の周りの筋肉を伸ばし、背骨を柔軟にする」が1つの目的。腰の周りに筋肉を伸ばすこと・・・これが難しい。日本だったら誰でもできるこの体操、実はよく考えられている運動だと改めて気づかされました。



↑クリスマス会で記念撮影している7年生



↓共通テストの最中 6年生

ラジオ体操第一♪ 7年生 →

